

平成二十七年 入学試験 (平成26年11月8日)

「国語総合」

戸田中央看護専門学校

一、次の文章を読んで、あとの設問に答えなさい。

「このくらいは〈普通〉のことだ」という観念が最低限のモチベーションになっていた時代が、確かにあった。「〈普通〉でありたい」という思いが(A)つましい願いとして語られ、そして「そんなのはとても〈普通〉じゃない」という戒めが適度なキ(B)ハンとして流通していたのは、さほど古いことではない。I、近代化・脱近代化に伴って長く続く価値観や行動パターンの多様化は〈普通〉という言葉の意味内容の再定義を促す。しかしながら、それで〈普通〉という感覚それ自体が消えてしまいうわけではない。〈普通〉という意味の不断の更新は、これまでむしろ(B)〈普通〉感覚を強化する方向に作用してきた。

ところが昨年、その〈普通〉という意識のありようそれ自体が大きな揺らぎをきたしている。II、小学校の運動会で禁止されているバーベキューをおこない、平気でゴミを散らかしていく家族が何組もいることが報道されたりする。学校側が何度拡声器で注意を促しても、彼らは全く動じない。こうした事態が毎年フウブツ(C)シのように見られる学校は、学級崩壊どころか学校崩壊の状態に陥っていると言える。彼らに「〈普通〉では考えられない」とか「〈常識〉に欠く」といった批判をしても、聞く耳さえ持ちそうにない。

では運動会でバーベキューをおこなう家族が三割を超えたら、あるいは五割以上になったら、それが新たな〈普通〉さになるのだろうか。(C)そうではないだろう。〈普通〉というのは、統計的に考えられた平均値のことでも中央値のことでも最頻値のことでもなく、生活者によって生きられてきた日常知にほかならず、それに照らせば、そうした家族が人割になったとしても、その学校は〈普通〉ではない〈非常識〉な空間ということになるにちがいない。国民の多数が殺し合いを演じている国家というのも同様だ。たとえそこでは当たり前のことになっていても、それを(D)ホウニンするわけにはいかない。もし、そうした事態を他人事として容認してしまうまでに〈普通〉感覚が麻痺してしまえば、もはや社会というものがそれ自体が成り立たなくなるだろう。

(D)社会学という学問は、とくに日本では〈普通〉や〈常識〉を忌み嫌いがちだ。世間に流布している〈常識〉に対して常に疑いのまなざしを向け、新たな社会を構想していこうという姿勢が、そこにはある。多数の暴力というものがあり、そして〈常識〉が抑圧的に作動する危険性がある以上、そうした批判的姿勢を取るのももちろん大事なことにちがいない。しかしながらその一方で、社会学はそもそも〈普通〉の〈常識〉に寄り添って、その構造と過程を明らかにするという使命を負っている。この使命をおろそかにし、〈常識〉のやみくもな破壊だけに終始してしまうとすれば、それは問題だろう。

思えば、既存の男性中心主義を鋭く批判するフェミニズムにしても、従前の〈普通〉さを打破したうえで、新たな〈常識〉を打ち立てようと懸命な努力をおこなっている。現行の〈普通〉な〈常識〉を擁護するにせよ、これを批判するにせよ、〈普通〉や〈常識〉といった感覚それ自体は大事なものであり続けるという点に注意しておこう。本書で〈普通〉や〈常識〉などの言葉に()を付しているのは、それが人々が共同で抱く幻想的な観念でありながら、社会のありようと諸個人の意味世界を根本から支えるきわめて重要な存在だということを強調したいからである。

筆者が中学生か高校生だった頃、いずれにせよ一九七〇年代の後半のことだが、テレビのドキュメン

タリー番組で、施設で育った若者が、かつて自分を棄てた母親にその後初めて対面するという番組が流れた。そのとき当の母親は自らの行状を省みることなく、次のようなことを息子に説いた。「いちばん大切なのは、まっとうな生き方をする事。ちゃんと生きるのが大事。お母さんもいま、まっとうに生きています。だからあなたもまっとうに生きてほしい」。悔いや詫びの言葉を全く口にしないどころか、棄てた息子にいきなり説教をする母親の姿には唾然とさせられる、しかしその息子は、ひたすら黙って母親の言葉に聞き入り、ずっと温かい笑みを浮かべていた。

いまから振り返れば、棄てたわが子に説教できるこの母親には、それなりの〈普通〉幻想が生きていたのだと思う。もちろん反省も悔悟もしないまま、傷つけた相手を厳しく諭そうとするのは〈非常識〉の極みだ。が、彼女が子どもに〈常識〉を懇々と説いたのは、〈普通〉の母親の役を何とか演じたいという思いの表れだったのかもしれない、運動会でバーベキューをしてしまう親は、自らが〈非常識〉であるだけでなく、子どもたちにその〈非常識〉を押しつけてしまっている。これに対してこの母親は、少なくともわが子に〈常識〉を諭していた。

そして説教を受けた若者のほほ笑みは、全てを赦しているかのように見え、ひたすら感動的だ。恨みをおぶつけるどころか、情愛に満ちたまなざしで、かつて自分を棄てた母親の説諭を穏やかに受け入れる彼の優しさ。〈普通〉にはとてもとれそうにない態度ではある。が、これほどではなく、その何分の一かでもいいので、そうした優しさがいつしか〈普通〉にシン（を）トウ（を）するような社会になることを願ってやまない。もとより、このような願いを述べるのは複雑な社会現象に取り組み研究者にしては単純にすぎるといふ批判も大いにありえよう。実際、本書で展開する議論の多くは、非常に素朴なものである。しかし、シニカル（冷笑的）でニヒル（虚無的）な姿勢が社会学者のうちだけでなく〈普通〉の人々の間にも目立つようになってきた今日、ナイーブ（単純素朴）な考えを巡らせるのはとても大事なことのように思う。

社会学の教科書類の冒頭には、当たり前を疑うことが大事だとか、物事を斜めから見ることが大切などよく書かれている。〈普通〉の〈常識〉がそれなりに強かった時代に生まれ育ち、それに対して少なからぬ **III** を覚えていた著者たちがそう言いたくなるのもよくわかる。筆者もその世代の人間だ。しかしながら、そもそも〈普通〉とは何かがよくわからなくなった社会に生まれ落ちた新たな世代の人たちにとって、〈常識〉を脱するように勧める提言はいったいどのようなように響くのだろうか。

べつに社会学者だけでなく、小学校の先生も、ファッション関係のショップ店長も、会社の採用担当者も、もはや当たり前前に生きていくだけでダメだとしきりに説き、独自性を発揮するようにひたすら勧めているのがいまの時代だ。そうしたなか、〈常識〉を疑えと説く社会学者たちの言葉は、まったくもって **IV** チン（を）プ（を）なものとなし、力強さを失ってしまう。〈常識〉が **IV** しているにもかかわらず、それを覆くがえせと説かれ、何が当たり前かがわからなくなっているのに、自分であれと言われても、氾濫するそうした言葉の数々は虚しいものとして空転せざるをえない。社会学者たちは、こうした時代の問題に対してもっと敏感であっていいはずだ。付言するならば、かつて堅固な〈常識〉にとらわれすぎているのは、年のいった社会学者自身だろう。〈普通〉の人たちの多くは、良くも悪くもそこからとうの昔に解放されている。

そこでこの本では、〈普通〉とか〈常識〉といったものを古き悪しき臆見とだけ決めつけて唾棄してしまうのではなく、これらを真正面からしっかりと見据えてみることにしよう。なるほど、そこにはネガティブな要素も多々見つかるにちがいない。が、そうであればこそ、よりポジティブな〈普通〉の〈常識〉を構築していこうとする営みは一層重要なものになってこよう。以下の各章では現代社会の様々な

トピックを取り上げるが、この本が全体として目指しているのは、(E) 希望に満ちた明るい〈普通〉の可能性を探っていくことにほかならない。

(山田真茂留『〈普通〉という希望』青弓社、による)

問一、傍線部(あ)く(お)のカタカナと同じ漢字を、次の各群の1〜4のうちから、それぞれ一つ選びなさい。

【あ…解答番号1、い…解答番号2、う…解答番号3、え…解答番号4、お…解答番号5】

- | | | | | | |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| (あ) | キハン | 1、同ハン | 2、模ハン | 3、ハン対 | 4、ハン罪 |
| (い) | フウブツシ | 1、風シ | 2、停シ | 3、シ集 | 4、開シ |
| (う) | ホウニン | 1、ホウ送 | 2、ホウ告 | 3、ホウ問 | 4、ホウ富 |
| (え) | シントウ | 1、トウ酔 | 2、トウ一 | 3、関トウ | 4、トウ明 |
| (お) | チンブ | 1、チン黙 | 2、チン金 | 3、チン情 | 4、チン庄 |

問二、傍線部(A)「つましい」の意味としてもっとも適当なものを、次の1〜4から選びなさい。

【解答番号6】

- 1、地味で質素な 2、みすばらしげな 3、極めて一般的な 4、無難であたり前な

問三、空欄 に入る接続表現としてもっとも適当なものを、次の1〜4から選びなさい。

【解答番号7】

- 1、おそらく 2、確かに 3、一方 4、しかしながら

問四、傍線部(B)「〈普通〉感覚を強化する方向に作用してきた」とはどのようなことか。その説明としてもっとも適当なものを、次の1〜4から選びなさい。 【解答番号8】

- 1、〈普通〉という感覚が消えてしまわないよう、求められる要件が増えてきたということ
- 2、〈普通〉の内容は変わっても、社会のありようと諸個人の意味世界を根本から支えてきたということ
- 3、〈普通〉の意味を更新するために、〈普通〉を最低限のモチベーションにしてきたということ
- 4、〈普通〉という意識のありようが揺らぎをきたさないように、教育を強化してきたということ

問五、空欄 に入る接続表現としてもっとも適当なものを、次の1〜4から選びなさい。

【解答番号9】

- 1、したがって 2、さらに 3、例えば 4、すなわち

問六、傍線部（C）「そうではないだろう」とあるが、なぜ筆者はこう言うのか。その説明としてもっとも適当なものを、次の1〜4から選びなさい。 【解答番号10】

- 1、〈普通〉の再定義が促されているので、〈普通〉は統計的な値とは無関係なものになってしまったと考えているから
- 2、〈普通〉という意識のありよう自体が揺らぎをきたしているので、統計をとることはできないと考えているから
- 3、〈普通〉さは、統計的な数値と生活者によって生きられてきた日常知との両面から再定義されると考えているから
- 4、〈普通〉というのは、日常生活の中で身に付いた感覚のことで、統計的な値で決まるものではないと考えているから

問七、傍線部（D）「社会学という学問は、とくに日本では〈普通〉や〈常識〉を忌み嫌いがちだ」とあるが、それはなぜか。その説明としてもっとも適当なものを、次の1〜4から選びなさい。 【解答番号11】

- 1、〈常識〉に寄り添う姿勢から〈常識〉を疑う姿勢へと転換するために、新たな〈常識〉を打ち立てなくてはならないから
- 2、新たな社会を構想していくためには、世間に流布している〈常識〉から脱するための批判的姿勢を取ることが大事だから
- 3、従前の〈常識〉による多数の暴力に対抗し、自分たち自身のための〈常識〉を樹立するには、まず徹底的な破壊が求められるから
- 4、〈普通〉の〈常識〉の構造と過程を明らかにするという使命を果たすには、現行の〈常識〉は曖昧なものとして邪魔になるだけだから

問八、空欄 ㉓ に入ることばとしてもっとも適当なものを、次の1〜4から選びなさい。 【解答番号12】

- 1、罪悪感
- 2、優越感
- 3、臨場感
- 4、違和感

問九、空欄 ㉔ に入ることばとしてもっとも適当なものを、次の1〜4から選びなさい。 【解答番号13】

- 1、稀薄化
- 2、日常化
- 3、合理化
- 4、固定化

問十、傍線部（E）「希望に満ちた明るい〈普通〉さの可能性を探っていく」とはどういうことか。その説明としてもっとも適当なものを、次の1〜4から選びなさい。 【解答番号14】

- 1、〈普通〉の〈常識〉のネガティブな要素をすべて排除して、完全にポジティブな〈普通〉の〈常識〉の構築を試みたいということ
- 2、かつての堅固な〈常識〉に見切りをつけて〈普通〉の〈常識〉にまなざしを向けることで、意識のありようを揺らぎのないものにしみたいということ
- 3、何が〈普通〉であるかはよくわからないままであるが、〈常識〉という感覚それ自体は大事なものだとして世間に流布したいということ

4、現行の〈普通〉の〈常識〉を見直すことで、社会や諸個人のありかたを支える新たな〈常識〉の構築ができないか考えを巡らせるということ

問十一、本文の内容と合致しないものを、次の1～4から選びなさい。

【解答番号15】

1、運動会でバーベキューをおこなう家族が何組もいる学校は、学校崩壊の状況にあるといえる
2、独自性を発揮するように勧めるのは、〈普通〉の〈常識〉が強かった時代に生まれ育った人たちだけである

3、社会学が〈常識〉を疑う理由の一つは、〈常識〉が抑圧的に作動する危険性があるからである
4、棄てたわが子に「まっとうな生き方」を諭す母親は、悔いや詫びの言葉は口にしなかった

二、16～20について、正しい読みを1～4から選びなさい。

【解答番号16～20】

- | | | | | | |
|----|----|---------|---------|--------|---------|
| 16 | 呆気 | 1、ほうき | 2、ほうけ | 3、ほっけ | 4、あっけ |
| 17 | 苦渋 | 1、くるしぶ | 2、くしぶ | 3、くしゅう | 4、くじゅう |
| 18 | 憐憫 | 1、れんびん | 2、れんぶん | 3、れんみん | 4、れんもん |
| 19 | 早急 | 1、さつきゅう | 2、そつきゅう | 3、さつそく | 4、せいきゅう |
| 20 | 代替 | 1、だいか | 2、だいかえ | 3、だいたい | 4、たいか |

三、21～23の四字熟語について、()内の意味になるように、■に入る一字を1～4から選びなさい。

【解答番号21～23】

21 美辞■句(美しくうわべだけ飾った、内容の乏しく真実味のないことば)

- 1、華 2、麗 3、絶 4、律

22 大言■語(できそうにもない、大きなことを言うこと)

- 1、空 2、想 3、壮 4、虚

23 一■同仁(すべての人に平等に接すること)

- 1、視 2、衆 3、心 4、家

四、24～27の文について、()の中にもっとも適切な語句を1～4から選びなさい。

【解答番号24～27】

24 こんなところで警官に出くわすなんて、犯人も()驚いたことだろう。

- 1、さながら 2、さしずめ 3、さぞかし 4、さやかに

25 休憩も取らずに、寸暇を()働いた。

- 1、いとわず 2、おしまず 3、おしんで 4、削って

26 試験範囲が発表になったそうだが、欠席をして()。

- 1、聞き捨てた 2、聞き損なった 3、聞き過ぎた 4、聞き忘れた

27 地下鉄の車内でビールを飲んでいる若者に、思わず眉を()。

- 1、あげた 2、ひそめた 3、よせた 4、そらした

五、28、29の俳句の作者を、1～4からそれぞれひとり選びなさい。

【解答番号28、29】

くろがねの秋の風鈴なりにけり

冬蜂の死にどころなく歩きけり

1、飯田蛇笏

2、高浜虚子

3、正岡子規

4、村上鬼城

六、次の傍線部の表現は、敬語表現として適当か。適当な場合は1を、適当でない場合はその理由を2

く4から選びなさい。

【解答番号30】

どなた様もお忘れ物いたしませんよう、ご注意ください。

- 1、適当である。
- 2、尊敬語を使うべきところを謙讓語を使っている。
- 3、謙讓語を使うべきところを尊敬語を使っている。
- 4、二重敬語である。